

2003 年度 委員会活動成果報告

(2004 年 3 月 31 日作成)

委員会名	地震による衝撃的破壊現象に関する小委員会	主 査 名：野中泰二郎
所属本委員会 (所属運営委員会)	構造委員会 (応用力学運営委員会)	委員長名：西川孝夫 主 査 名：上谷宏二
設 置 期 間	2000 年 4 月 ～ 2004 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画	地震による構造物の衝撃的破壊は未だ一般にはよく認識されていない。それに対する設計法は殆ど検討されていない。耐震設計法の改善に向けて実験的、理論的研究成果を蓄積する。	
委員構成 (委員名 (所属))	主査：野中泰二郎 幹事：高嶋秀雄 委員：吉田 望・井元勝慶・内田直樹・大野友則・河西良幸・上林厚志・橘英三郎・坪田張二・富永 恵・中山昭夫・那谷晴一郎・西田明美・榊井 健	
設置 WG (WG 名：目的)	地震による衝撃的破壊現象に関するWG ：目的は小委員会と同様	
2003 年度予算	140,000 円	

項 目	自己評価
委員会活動状況 (開催日・参加人数)	委員会は 2003 年 4 月 17 日(建築会館)、大会期間中の 2003 年 9 月(中部大学)と 2004 年 1 月 23 日に (建築会館) 開催した。
得られた成果	(成果の具体的内容、成果の学術的・技術的・社会的価値、ホームページ等での公開の有無)
	ニューヨーク・ワールド・トレード・センターおよびペンタゴンの構造破壊について詳細なシミュレーション結果と資料を収集、コンクリートおよびモルタル模型の対衝撃反応、鋼材の耐衝撃性に関する実験的研究成果などを蓄積した。
	委員会 HP アドレス：
目標の達成度	(当初の活動計画と得られた成果との関係)
	2003 年度は主査の海外出張、自校での大会開催などで、十分な委員会活動ができなかった。 前年(2002 年)には北陸大会中にパネルディスカッションを開催し、成果報告書を刊行した。
その他評価すべき事項	